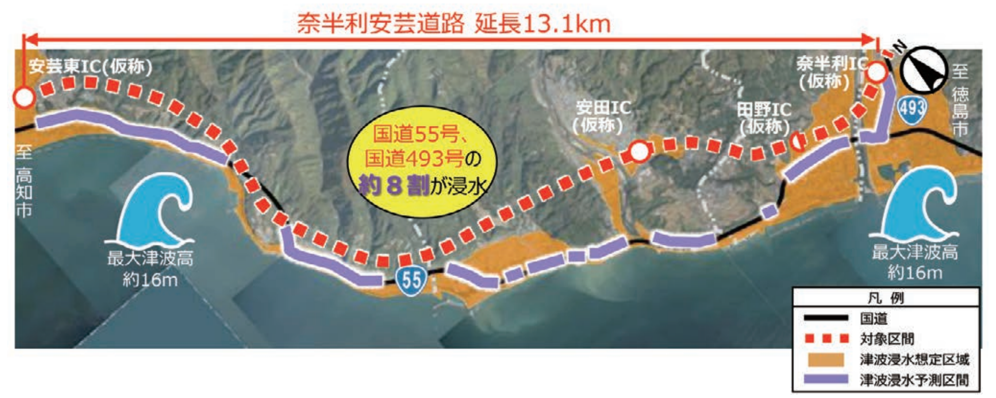
高知県東部地域の課題

南海トラフ地震に対する道路ネットワークの脆弱性

○本線に並行する国道５５号は南海トラフ地震の津波（最大津波高１６m）により約８割が浸水することが想定されています。

○奈半利町、田野町、安田町、安芸市では、既存の道路ネットワークが寸断される影響により、地域が分断・孤立し、避難・救助に時間がかかることが想定されます。

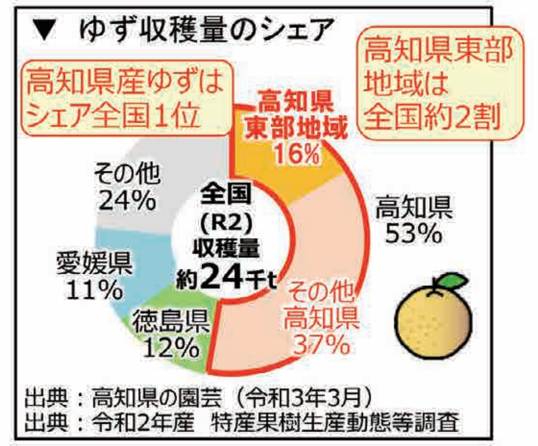
○地域の課題である南海トラフ地震による津波発生時に、国道55号の代わりとして地域の分断・孤立を解消し、円滑な救命・救助活動のアクセスの確保が必要になっています。



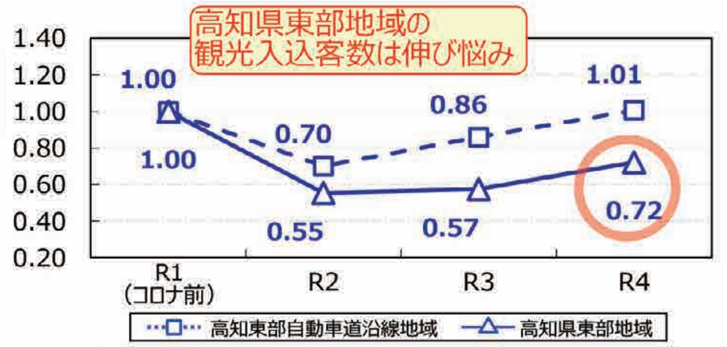
地場産品の流通促進及び観光促進による地域の活性化

○全国１位の収穫量を誇るゆずは、高知県東部地域からの集荷が約２割を占めているが、土砂流出や越波による通行止め等の影響により安定的な出荷が困難になっています。

○高知東部自動車道沿線地域の観光入込客数は増加傾向ですが、高知県東部地域（安田町以東）への観光では高知龍馬空港・高知新港からの移動に時間を要するため、観光客数が伸び悩んでいます。



出典：高知県の園芸（令和3年3月）
出典：令和2年産 特産果樹生産動態等調査

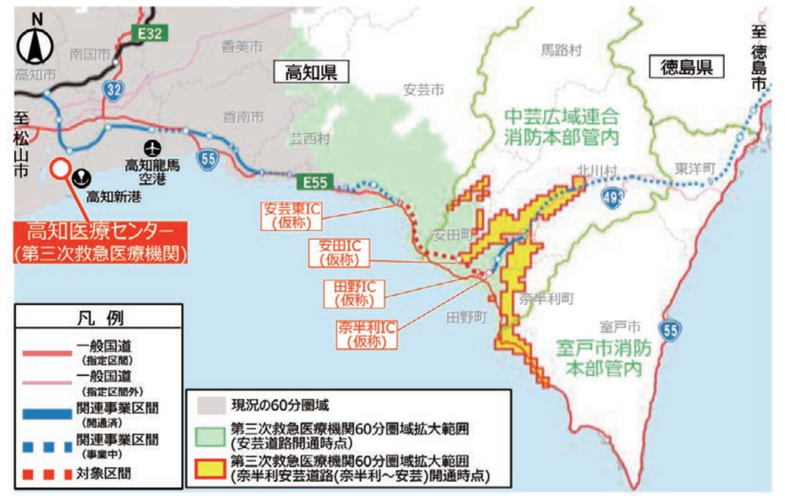


※R1（コロナ前）の観光入込客数を1とした伸び率
出典：県外観光客入込・動態調査報告書

高次救急医療機関へのアクセス

○高知県東部地域（安田町以東）には高度救急医療などを行える高次救急医療機関がなく重篤患者は高知市の施設に依存せざるを得ない状況となっています。

○室戸市消防本部管内に救急指定病院が無く、管外搬送が半数以上を占めていますが、高次救急医療機関の60分圏域外となっており、救急車が円滑に医療機関へ到着できる道路整備が必要となっています。



奈半利安芸道路ができるまで

🟧 は、関係者の方々のご意見をお伺いし、事業を進めるステップです。

現地測量・地質調査

① 調査説明

計画道路の概要を関係者の方々に説明し、測量・地質調査のために土地への立ち入りの了解をお願いします。

② 現地測量・調査

設計に必要な地形の調査として、現地の詳しい測量や土地利用状況の調査などを行います。

道路詳細設計

③ 設計案作成

現地の地形状況などを反映して、設計案を作成します。

④ 設計協議

設計案を元に、関係者の方々と具体的な設計内容について協議します。

⑤ 現地協議

現地に道路の予定幅を示す目印を設置して、道路の構造（高さ・水路・側道・取合せ等）について、関係者の方々と現地で協議します。

⑥ 詳細設計

協議内容を反映して、設計を確定します。

⑦ 幅杭設置（道路用地確定）

用地調査・補償

⑧ 境界立会

道路用地にかかる土地の境界について確認するため、地権者の方々の立会をお願いします。

⑨ 用地調査

土地・建物・立竹木など、補償対象となる物件の調査を行います。

⑩ 用地補償説明

関係者の方々に用地補償の説明を行い、契約・支払いを行います。

⑪ 工　事

状況に応じて、事前に説明会を行います。

完　成（開 通）

道路が完成し、車が通れるようになります。

奈半利安芸道路の経緯

年　次	内　　容
平成28年度	計画段階評価着手
平成30年度	計画段階評価完了
令和4年度	安田～安芸事業化
令和6年度	奈半利～安田事業化

国土交通省 四国地方整備局
土佐国道事務所
TEL(088)884-0359
FAX(088)885-1603
〒780-0055　高知市江陽町2番2号
https://www.skr.mlit.go.jp/tosakoku/
https://twitter.com/mlit_tosa

道路緊急ダイヤル

幹線道路の異状を発見したら、
道路緊急ダイヤルへご一報ください。

#9910
（24時間受付無料）

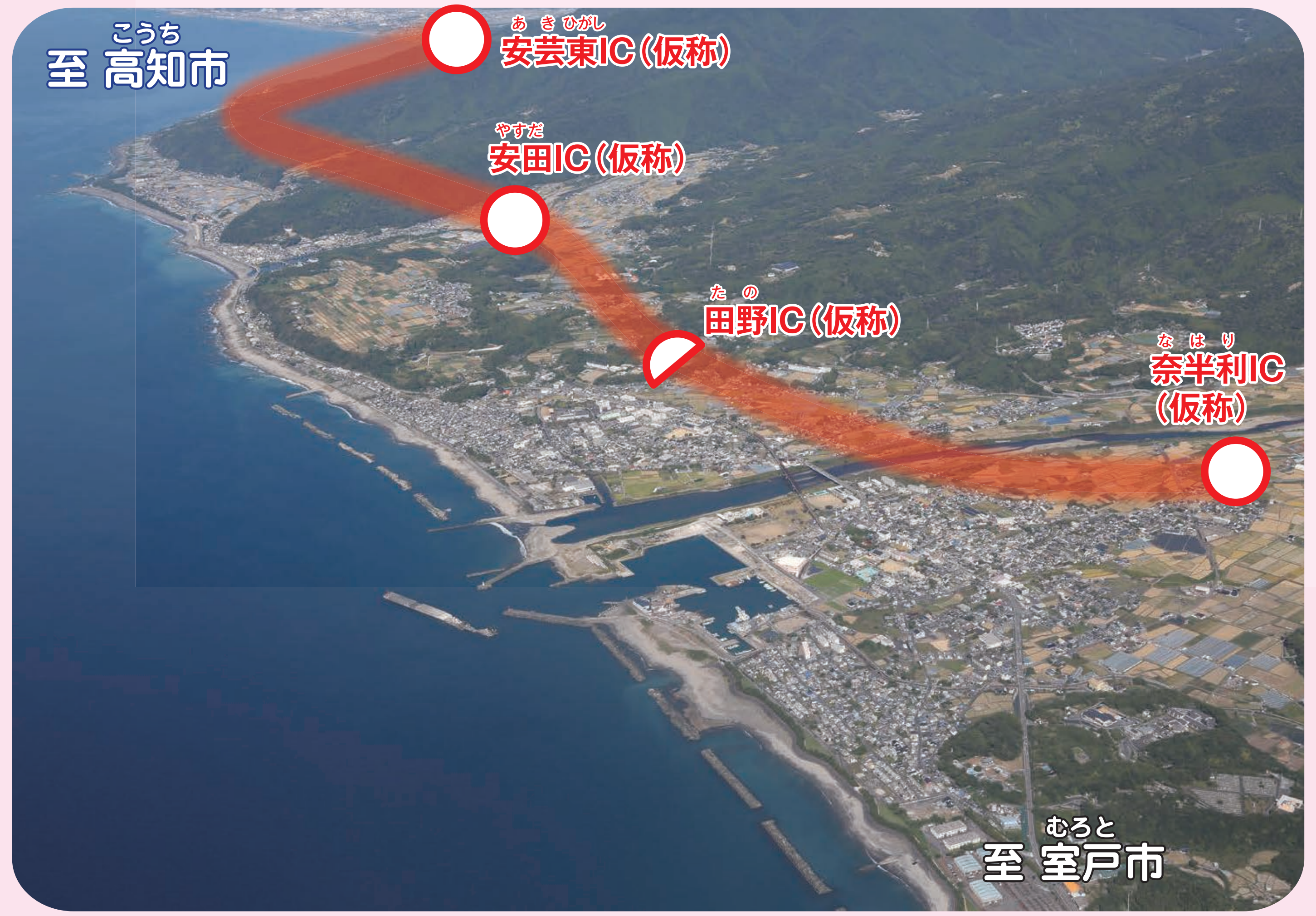
※夜間・土曜・日曜・祝祭日は対応できない場合もあります。

R60　VEGETABLE OIL INK
発行日 2024.5　発行部数 2,000
本誌は環境保護を目的とし再生紙を使用すると共に大豆油インキを使って印刷しております。

阿南安芸自動車道

一般国道55号

奈半利安芸道路



国土交通省 四国地方整備局
土佐国道事務所

奈半利安芸道路の効果

効果１ 信頼性の高い道路ネットワークが整備されます！！

- 津波浸水する国道５５号に代わり、災害時の円滑な救援活動を可能にする道路として期待されます。
奈半利安芸道路（約13.1km）における津波浸水区間延長
【現状】浸水：約9.6km（約8割浸水）
↓
【整備後】浸水：0km

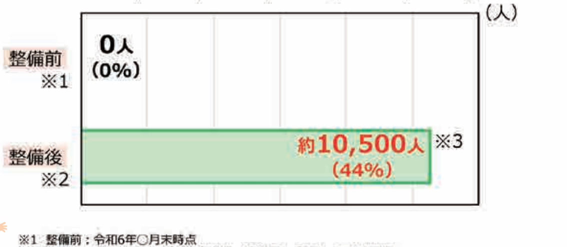
効果２ 産業や観光を支援します！！

- 国道５５号が土砂流出、越波等により通行止めが発生する場合でも特産品である農作物の安定的な出荷を可能にします。
- 高知龍馬空港からのアクセス向上により高知県東部地域の観光振興が期待されます。

効果３ 高次救急医療機関へのアクセスが向上します！！

- 高知県東部地域からの第三次救急医療機関への搬送時間を短縮し、第三次救急医療機関６０分圏域人口カバー率が増加します。

高知県東部地域（安田町以東）の第三次救急医療機関の60分圏域人口カバー率



※1 整備前：令和6年○月末時点
※2 整備後：高知JCT～奈半利安芸道路（奈半利～安芸）まで全線開通
※3 高知東部地域（安田町以東）の全人口に対する高知JCT～奈半利安芸道路（奈半利～安芸）まで全線開通時の第三次救急医療機関への60分圏域人口カバー率

奈半利安芸道路の概要

■路線名
一般国道５５号　奈半利安芸道路
（阿南安芸自動車道）

■区間及び延長
区間：（自）高知県安芸郡奈半利町字芝崎
（至）高知県安芸市伊尾木
延長：13．1km

■構造規格
第１種第３級（自動車専用道路）

■車線数　２車線

■設計速度　８０km／h

奈半利安芸道路は、高規格道路の空白地帯を補完し、四国８の字ネットワークを形成する阿南安芸自動車道の一部となる自動車専用道路です。

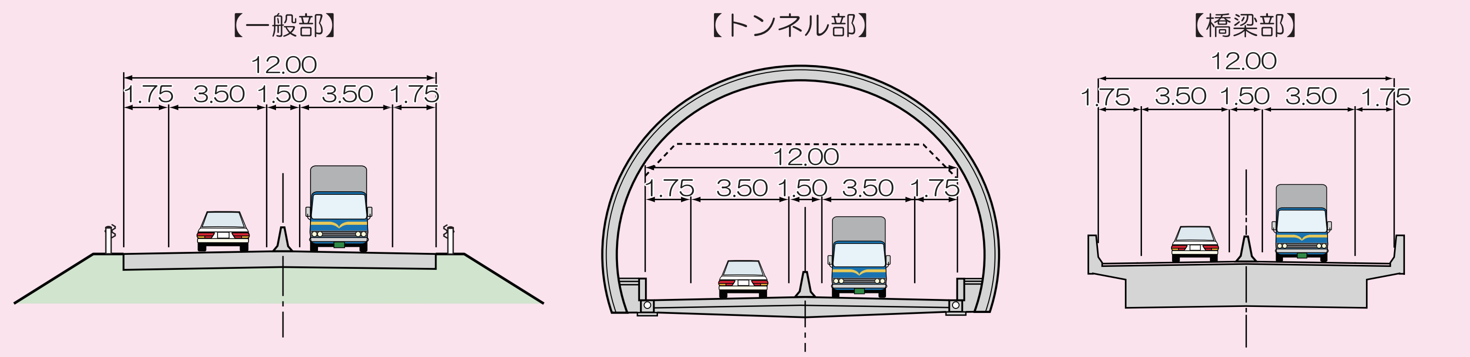
■ＩＣ及び連結道路

連結位置	連結予定施設
奈半利ＩＣ	町道　薮田線
田野ＩＣ	県道　西谷田野線
安田ＩＣ	町道　東島与床線
安芸東ＩＣ	県道　大久保伊尾木線

※インターチェンジ名は全て仮称。

標準断面図

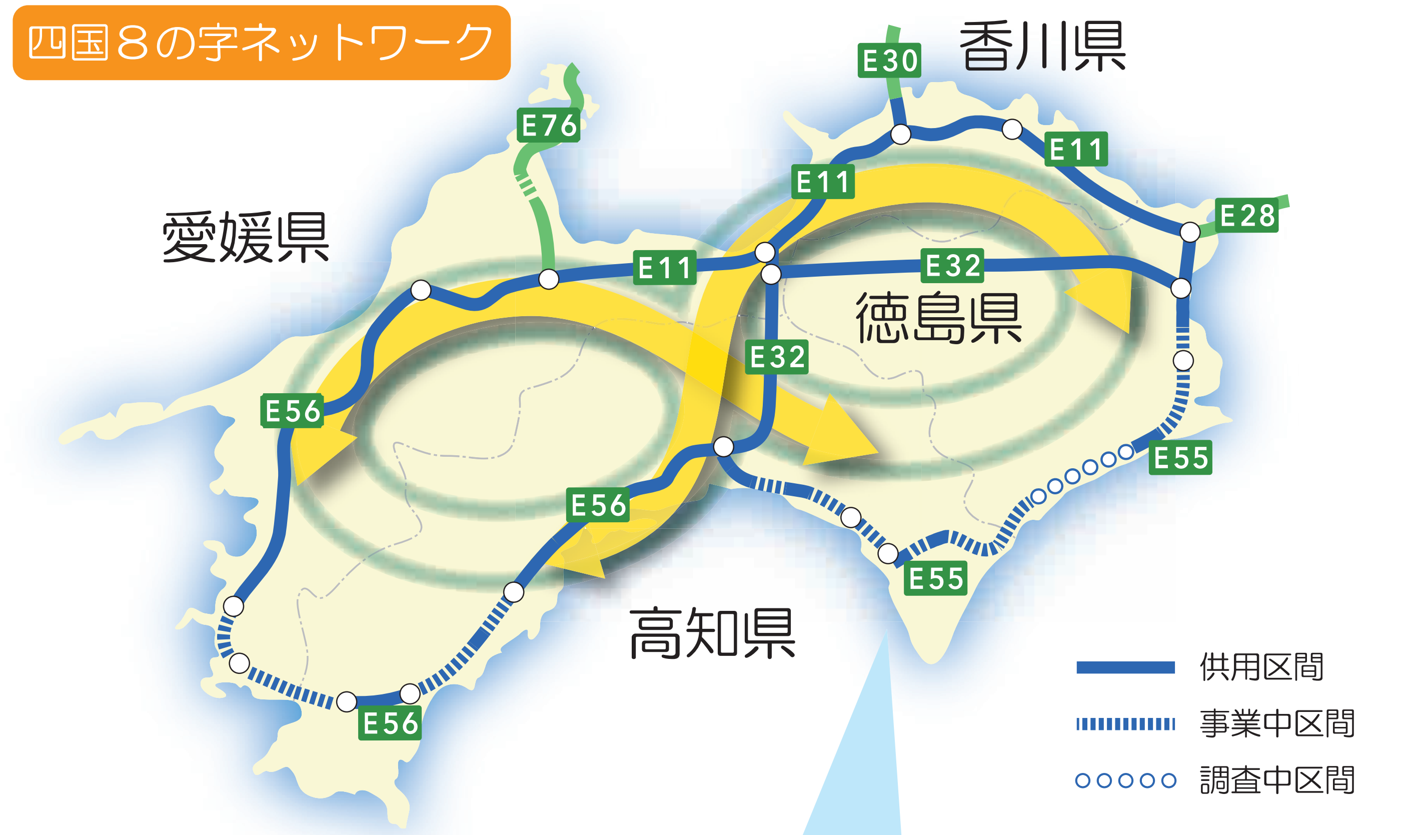
（単位：m）



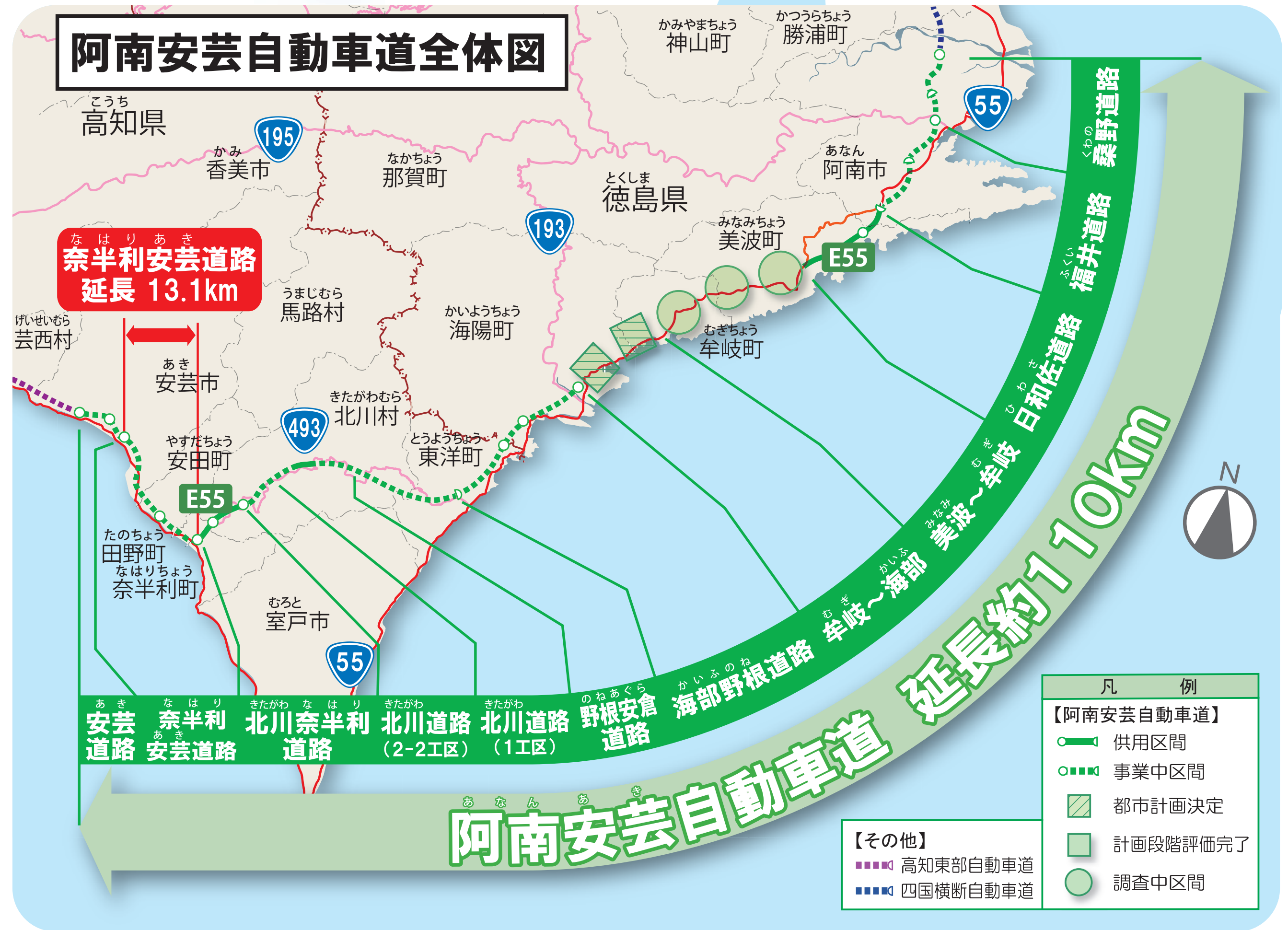
阿南安芸自動車道の概要

○阿南安芸自動車道は、徳島県南部と高知県東部の高規格道路の空白地帯を補完する道路として、概ね60km/h以上で走行可能な規格の高い道路です。
○奈半利安芸道路は阿南安芸自動車道の一部を構成しています。

四国８の字ネットワーク



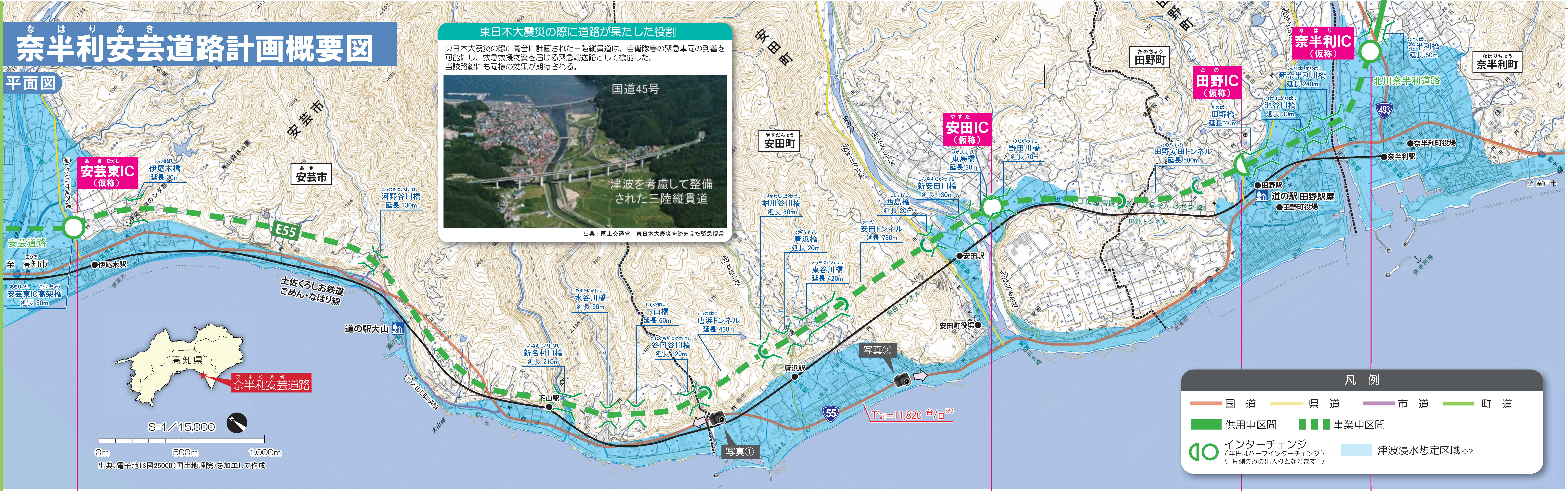
阿南安芸自動車道全体図



凡　例
【阿南安芸自動車道】
供用区間
事業中区間
都市計画決定
計画段階評価完了
調査中区間
【その他】
高知東部自動車道
四国横断自動車道

奈半利安芸道路計画概要図

平面図



出典：電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成

東日本大震災の際に道路が果たした役割

東日本大震災の際に高台に計画された三陸縦貫道は、自衛隊等の緊急車両の到着を可能にし、救急救援物資を届ける緊急輸送路として機能した。
当該路線にも同様の効果が期待される。

国道45号
津波を考慮して整備された三陸縦貫道

出典：国土交通省　東日本大震災を踏まえた緊急提言

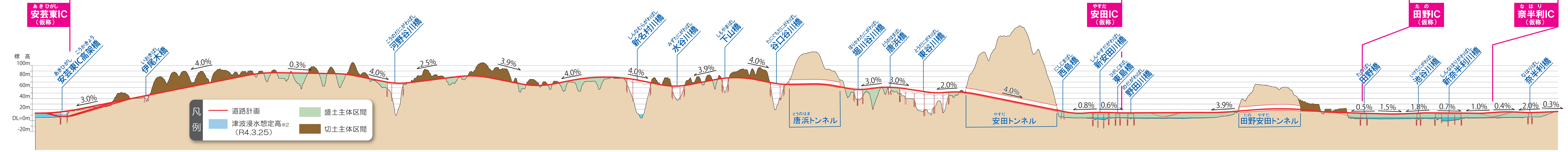
凡　例
- 🟥 国　道
- 🟨 県　道
- 🟪 市　道
- 🟩 町　道
- 🟩 供用中区間
- ▮▮▮ 事業中区間
- ◖○ インターチェンジ（半円はハーフインターチェンジ 片側のみの出入りとなります）
- 🟦 津波浸水想定区域※2

縦断図

延長 9.1km　延長 2.3km　延長 1.7km

奈半利安芸道路（安田～安芸）令和4年事業化 延長9.1km
奈半利安芸道路（奈半利～安田）令和6年事業化 延長4.0km

奈半利安芸道路延長 13.1km



▼写真①：降雨による土砂流出状況

【撮影日：平成20年6月】

▼写真②：台風による越波状況

【撮影日：平成30年9月】

※ 図中のインターチェンジ名及び橋・トンネルなどの名称はすべて仮称です。また、構造物延長は変わる場合があります。
※1 交通量（T'21）：令和３年度 全国道路・街路交通情勢調査
※2 津波浸水想定区域、津波浸水想定高：「津波防災地域づくりに関する法律に基づく津波災害警戒区域等の指定に向けた取り組み（令和4年3月25日高知県公表）」の津波災害警戒区域図（最大クラスの津波の重ね合わせ結果）